



建築科



全国の専門高校コーナー

☆輝く在校生☆

高校生活の目標

～私の中の偏見を乗り越えて～



沖縄県立名護商工高等学校 電建システム科 建築技術コース1年 崎山 ひなた

私は将来、建築の仕事に就きたいと考えています。そのため、専門的な事を学ぶことができ、様々な資格や決定が取れる名護商工高校電建システム科を選びました。

私が建築に興味を持ったのは、小学校5年生の時です。あるテレビ番組で、家の中をリフォームする、というのを見ました。リフォームする前と後の変わり方にごく驚き、そしてみんなのうれしそうなお顔に感動しました。その時に私は初めて「建築」の存在を知ったのです。そこから何回もその番組を見るようになり、木を切っている機械やその他の様々な道具にも興味を持つようになりました。

このように、私は小学生の頃から建築系の仕事がしたいと考えていました。しかし、誰かに「将来の夢は何?」と聞かれても「ありません」と答えていました。それに、「建築」というとみんなに笑われるのが嫌だったからです。「女の子なのに」と決まってしまうのが本当に嫌でした。馬鹿にされているときえ感じました。

あるとき、中学校の授業で「建築」という職業を調べる機会がありました。すると、今では女性も増えてきているなど、私の知らなかった情報がたくさんありました。また、ある

女性が入社して大工さんで、リフォームの番組に出ているのを見て、女性でもあんなにできるんじゃないか、やっぱり建築はいいな、と改めて感じました。そして「建築は男の仕事」と決めつけていたのは、私自身であると気がついたのです。私の中で、将来は建築の仕事に就くことが決まりました。

高校にいざ入学すると、私のクラスは私以外全部男子でした。しかし、それをチャンスとらえ、将来建築の仕事に就いたときに必要となるコミュニケーション能力を養って行きたいと思っています。また、建築関係の資格や検定をたくさん取ろうと考えています。体力の差で男子に負けてしまう部分はあるかもしれませんが、それ以上に努力し、一生懸命取り組んでいきたいと思っています。そして、夢の実現を目指します。



現場実習 早くも現場監督の真似?

高等学校の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合学科に関する情報誌

産業と教育 4

Vocational Education 令和4年 No.834

◆特集◆
産業界や地域等との連携等

◆巻頭・論説◆
“ふくしま”からの挑戦
—地域企業、研究機関等と連携した人材育成の実践—
公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
教育・人材育成部 人材育成支援課 課長 飯田 喜之

◆実例◆
福島県立磐城農業高等学校
富山県立水見高等学校

編集協力: 文部科学省初等中等教育司
職業教育課(高等学校校務) 職業教育課長室
職業教育課長室

全国で販売されている雑誌に掲載されたよ！
すごい



かっこいい女子が輝ける場所。
それが名護商工高校・建築科。



(大宜味中出身)
崎山 ひなた